

第 1 回 土橋自然観察教育林連絡協議会協議事項

開催日時：2015 年 4 月 28 日（火）19：00～

開催場所：厚沢部町図書館視聴覚室

会 議 次 第

1. 開 会

2. 教育長挨拶

3. 協議事項

協議事項 1 平成 26 年度土橋自然観察教育林関係事業報告

協議事項 2 平成 27 年度土橋自然観察教育林関係事業計画

その他 懸案事項等自由討議

協議事項 1 平成 26 年度土橋自然観察教育林関係事業報告

主管係	社会教育係	記入者	水本絵夢
事務事業名	土橋自然観察教育林管理事業	中期計画上の位置づけ	自然環境の保護と活用の推進
10 款 5 項 5 目	教育林管理費	事業費	3,981 千円
事業の目的 (求める成果)	(1) 土橋自然観察教育林の自然環境を保護し、その価値を維持する (2) 土橋自然観察教育林の活用に必要な遊歩道等の施設を管理し、利用者の安全を確保する (3) 土橋自然観察教育林の活用に必要な情報収集及び広報、学習機会を提供する		

1. 教育林コーディネーター活用事業

期日：通年

内容：情報収集及び発信、見回り及び保護活動、利用者対応、遊歩道管理。

2. 教育林巡回監視事業

期日：4 月～11 月

内容：巡回監視により、遊歩道破損状況及び危険箇所、看板等設置物破損状況、危険動物痕跡を発見・報告する。

3. 土橋自然観察教育林管理事業

期日：遊歩道修繕、(随時)、遊歩道草刈り (6 月)、倒木処理 (随時)

内容：遊歩道草刈りは、砂利舗装路及び見本林のみ外部委託。その他は随時手刈りにて対応。

4. 植物モニタリング調査

期日：6 月 (開花調査)、8 月 (結実調査)

内容：対象植物の個体数・開花結実数計測。

5. 教育林講座開催事業

◎教育林講座 「道南ヒバの今と昔(コーディネーター講座)」

期日：平成 27 年 3 月 15 日(日) 10 時～15 時

内容：教育林内のヒバ林の散策と、ヒバに関する概論的な講座

講師：教育林コーディネーター 水本絵夢

6. 教育林観察会開催事業(資料1)

◎月例観察会

期日：毎月第4日曜日

内容：季節に沿った自然観察会及び自然工作。

7. 土橋自然観察教育林連絡協議会運営

◎第1回土橋自然観察教育林連絡協議会

期日：4月15日

内容：平成25年度事業報告、平成26年度事業計画

◎現地協議会

期日：5月25日

内容：記念植樹域の取り扱いについて。

◎第2回土橋自然観察教育林連絡協議会

期日：12月2日

内容：平成26年度事業報告、平成27年度事業計画

8. 樹木見本林整備事業

期日：5月(樹木見本林の空地に植える樹種の検討)、11月～3月(樹名板の設置)、ほか通年

内容：樹名板の設置、樹木見本林の空地に植える樹種の検討、観察会等での活用を企画

9. 遊歩道の再設置(修繕)事業

期日：4～6月

内容：土砂崩れ等により崩壊した遊歩道、腐朽により破損した木橋の修繕を行った。(委託)

10. ヒノキアスナロ植栽地整備事業

◎ヒノキアスナロ植栽地環境調査事業

期日：1月

内容：調査項目の決定や調査区域の設定を行った。

◎ヒノキアスナロ記念植樹域整備事業

期日：5月(現地視察)

内容：現地協議会を設け、記念植樹域の取り扱いについて協議を行った。

協議事項 2 平成 27 年度土橋自然観察教育林関係事業計画

主管係	社会教育係	記入者	水本絵夢
事務事業名	土橋自然観察教育林管理事業	中期計画上の位置づけ	自然環境の保護と活用の推進
10 款 5 項 5 目	教育林管理費	事業費	3,746 千円
事業の目的 (求める成果)	(1) 土橋自然観察教育林の自然環境を保護し、その価値を維持する (2) 土橋自然観察教育林の活用に必要な遊歩道等の施設を管理し、利用者の安全を確保する (3) 土橋自然観察教育林の活用に必要な情報収集及び広報、学習機会を提供する		

1. 教育林コーディネーター活用事業

期日：通年

内容：情報収集及び発信、見回り及び保護活動、利用者対応、遊歩道管理。

2. 教育林巡回監視事業

期日：5 月～11 月

内容：巡回監視により、遊歩道破損状況及び危険箇所、看板等設置物破損状況、危険動物痕跡を発見・報告する。

3. 土橋自然観察教育林管理事業

期日：遊歩道修繕（随時）、遊歩道草刈り（6 月）、倒木処理（随時）

内容：遊歩道草刈りは、砂利舗装路及び見本林のみ外部委託。その他は随時手刈りにて対応。

4. 植物モニタリング調査

期日：6 月（開花調査）、8 月（結実調査）

内容：対象植物の個体数・開花結実数計測。

5. 教育林講座開催事業

◎教育林講座 第 1 弾「樹木見本林を歩く」（予定）

期日・講師：未定

内容：樹木見本林を歩き、樹木について、また植物園の歩き方などを講演していただく。

◎教育林講座 第 2 弾「コーディネーター講座」

期日・内容：未定

講師：教育林コーディネーター 水本 絵夢

6. 教育林観察会開催事業(資料 2)

期日：毎月第 4 日曜日(12 月除く)

内容：季節に沿った自然観察会及び自然工作。

7. 土橋自然観察教育林連絡協議会運営

期日：通常 4 月、11 月の 2 回を定期開催とし、課題が発生した場合に随時開催。

内容：教育林の保護と活用に関わる事業計画の協議。

8. 教育林パンフレット重版事業

期日：4 月

内容：平成 24 年度作成の原稿を改稿し、パンフレットを重版する(A3DM 折りで 3000 部程度)。

9. 木育イベント開催事業

期日：8 月 16 日(日)

講師：村上嘉子氏、ほか木育マイスター 2 名

内容：夏休みの小・中学生を対象に、工作体験や教育林の散策、木製玩具の利用などといったアクティビティを行う、木育(樹木を利用した教育)イベントを開催する。

10. 遊歩道の修繕事業(資料 3)

期日：4 月～5 月

内容：老朽化によって破損した橋等の修繕を行う。(委託)

11. ヒノキアスナロ植栽地整備事業(資料 4)

◎ヒノキアスナロ人工林環境調査事業

期日：6～7 月(下層植生調査)、9～10 月(毎木調査)

内容：調査区域について、下層植生調査と毎木調査を行う。

◎ヒノキアスナロ記念植樹域整備事業

期日：5～6 月(現地視察)、11 月(素案提出)

内容：林務係の職員を交えての現地視察と、平成 26 年度の現地協議会での協議(資料 5)を基盤として、今後の取り扱いについての計画を策定する。

1 2. 小学生向け教育林散策ガイドブック作成事業

期日：1～3 月

内容：季節に応じた小学生向けの教育林散策ガイドブック（手持ち資料）を作成する。

資料 1 平成 26 年度土橋自然観察教育林月例観察会 開催報告

開催期日	参加人数	開催テーマ・内容
4 月 27 日	6 名	「森びらき 2014 春のいぶきを感じよう！」 …ミズバショウをはじめ、様々な花を楽しみつつ散策した。
5 月 25 日	10 名	「シダ植物をみわけてみよう！」 …数種のシダ植物を、特徴から見分けてみた。
6 月 22 日	9 名	「樹木見本林かんさつ会」 …樹木見本林の中を散策しながら、樹木の様子を観察した。
7 月 27 日	7 名	「セミの羽化観察会」 …夜、テントサイト周辺でセミの羽化の様子を観察した。
8 月 24 日	1 名	「ねんきんかんさつ会」 …移動する粘菌の変形体をさがしながら散策した。
9 月 28 日	10 名	「秋のレク森ハイキング」 …やや長距離のブナばあさんまでの往復コースを散策した。
10 月 26 日	12 名	「紅葉かんさつ会」 …秋の紅葉を楽しみながら教育林を散策した。
11 月 23 日	17 名	「草木色でアイヌ文様をかいてみよう！」 …草木を用いた染料を利用し、アイヌ文様をかいてオリジナルバンダナを作成した。講師に村上嘉子先生（工作室はらっぱ）。
12 月	－	－
1 月 25 日	15 名	「冬の森をあるこう！（スノーシュー体験）」 …スノーシューを履き動物の足跡等を観察しながら散策する。
2 月 22 日	6 名	「自分だけのおはしをつくってみよう！」 …木の枝を材料にナイフをつかって箸を作成した。
3 月 22 日	11 名	「冬芽ずかんをつくってみよう！」 …樹木の冬芽を観察し、冬芽の図鑑を作成する。

資料2 平成27年度土橋自然観察教育林月例観察会 年間計画

開催年	開催日時	開催タイトル・内容
2015 年	4 月 26 日(日)	「森びらき 2015 春のいぶきを感じよう！」 雪融けの頃、ミズバショウをはじめとする様々な花が咲き乱れる春の森を散策する。
	5 月 24 日(日)	「シダ植物をみわけてみよう！」 ヒバ林の林床に特に多いシダ植物について、何種かについてどのような種が生育しているのか簡単な調査を行う。
	6 月 28 日(日)	「夏の草木染め体験」 夏の植物からつくった染料をもちいて絞り染め体験をおこない、バンダナなどを制作する。
	7 月 27 日(日)	「セミの羽化かんさつ会」 夜、テントサイト周辺でセミの羽化の様子を観察する。ナイトトラップ（捕虫管などを用いた虫トラップ）を設置する。
	8 月 26 日(日)	「きのこ粘菌かんさつ会」 葉の裏や木の幹でみつける粘菌をやきのこを観察する。
	9 月 23 日(日)	「木の楽器をつくってみよう！」(仮) 樹木見本林を会場に、木をくりぬいて楽器（太鼓）を作成する。
	10 月 25 日(日)	「紅葉かんさつ会」 紅葉を楽しみ、樹木の果実や落ち葉を観察しながら、秋の教育林を散策する。
	11 月 22 日(日)	「秋のレク森ハイキング」 比較的長い距離のブナばあさんまでの往復コースを歩き、野鳥の観察を行う。
	12 月	(年末のためお休み)
2016 年	1 月 24 日(日)	「冬の森を歩こう（スノーシュー体験）」 スノーシューを利用して冬の教育林を歩く。アニマルトラッキングや樹木の冬芽を観察する。
	2 月 28 日(日)	「冬の樹木見本林かんさつ会」 樹木見本林で樹木に関するネイチャーゲームを行ったり、自然観察を行う。
	3 月 27 日(日)	「木から道具をつくってみよう！」 ナイフで木をけずり、バターナイフを作成する。

資料3 遊歩道の修繕事業

1. 事業の目的

ミズバショウ群生地である小沼に係る小橋等について、老朽化により修繕の必要がある箇所が複数発生した。本事業は、そういった遊歩道の破損箇所を修繕し、再び遊歩道を安全に利用できるようにするものである。

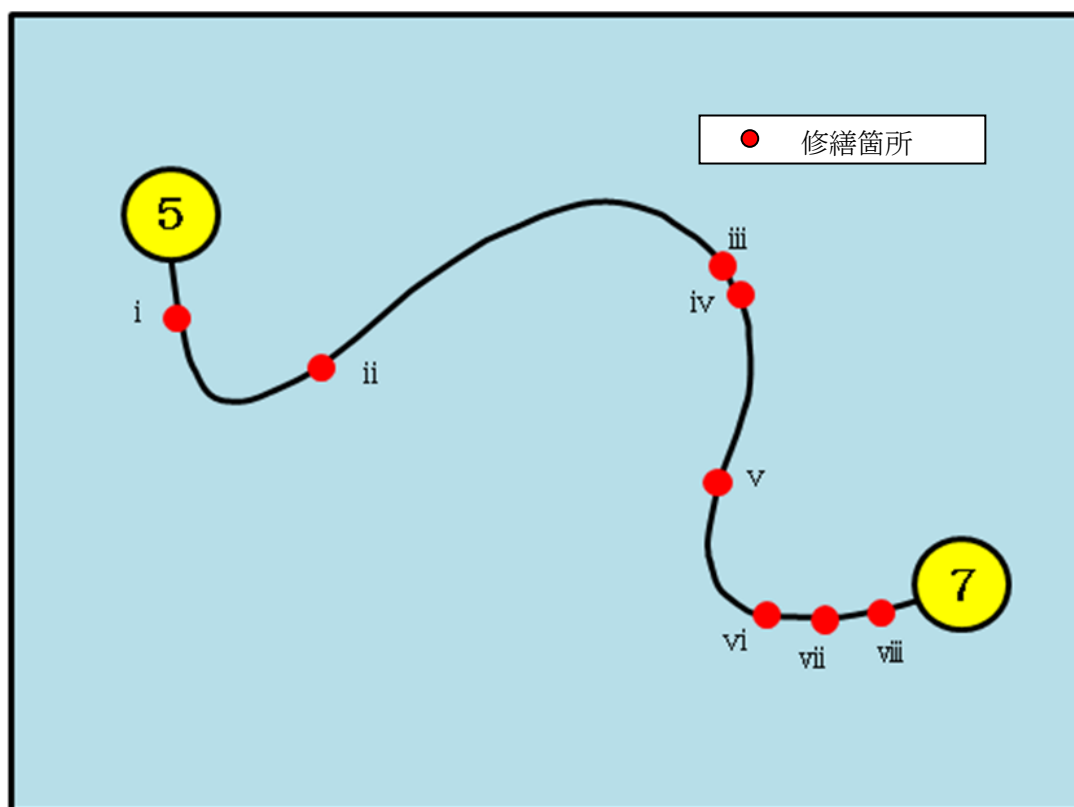
2. 遊歩道の修繕箇所の詳細

修繕箇所	修繕の内訳	修繕時期
I	分岐点③から分岐点④の方向へ進む途中、小橋の踏み板がぬけ、穴があいている。	H27.4月～ (委託)
II	分岐点④から分岐点⑥の方向に進む途中、小橋の踏み板がぬけ、穴があいている。	
III	分岐点⑤から分岐点⑦の方向に進む道に係る橋について、修繕の必要な箇所が複数ある。(詳細は以下)	
	i 手すりが壊れている。	
	ii 踏み板の一部が抜け落ちている。(現在一時的に修繕済み。)	
	iii 手すりが壊れている。	
	iv 手すりが壊れ、踏み板の一部が抜け落ちそうになっている。	
	v 土台部分が壊れかけている。	
	vi 土台部分が壊れかけている。	
	vii 土台部分が壊れかけている。	
	viii 土台部分が壊れかけている。	

3. 遊歩道の修繕箇所



◎修繕箇所Ⅲ詳細



資料4 ヒノキアスナロ植栽地整備事業

1. 事業の目的

平成 25 年度より、教育林内に位置する 302、303 小林班のヒノキアスナロ人工林、および樹木見本林近隣のヒノキアスナロ記念植樹域について、その取り扱いの検討・協議のために、事前に詳細な環境情報等を収集する事業を継続している。

本事業では、ヒノキアスナロ人工林においては標本箇所にて毎木調査を行い、現在の林況を把握する。得られた情報は、今後教育林内の他の人工林箇所を含め、どのようにヒバの人工林を取り扱っていくかを定める為の判断材料として活用する。

また、ヒノキアスナロ記念植樹域では平成 26 年 5 月に行った現地協議会での協議（資料 2 参照）、さらに平成 27 年度に行う予定である林務係との現地協議をもとに、今後の記念植樹域の取り扱いについての計画を策定する。

2. 事業対象

◎ヒノキアスナロ人工林環境調査事業(図 1)

林小班	面積	樹種	林齢
302	1.08ha	ヒバ	52
303	0.92ha	ヒバ	58

※うち調査対象として、事業対象区(2ha)のうち標本区域を 3 ヶ所(計 0.12ha)定めた(標準値調査法による)。その標本区域 3 ヶ所について、毎木調査と植生調査(実生・稚樹調査含む)を行う。

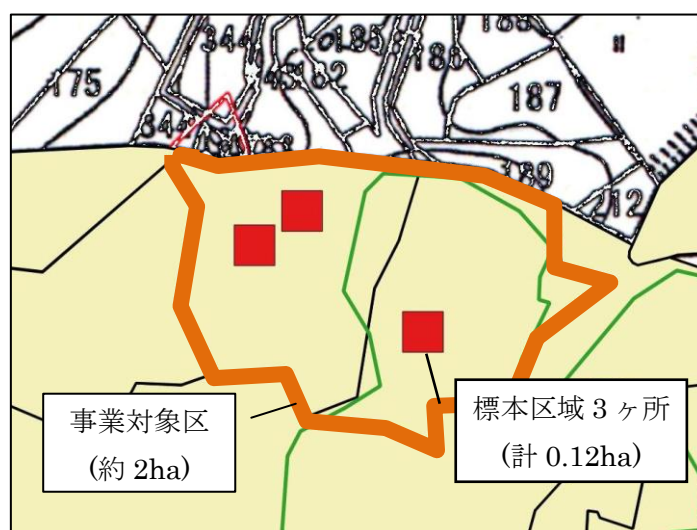


図 1. 302、303 小林班のヒノキアスナロ人工林

◎ヒノキアスナロ記念植樹域整備事業(図 2)

植栽年月日	面積	樹種	植栽本数
H12. 5. 24	0. 25ha	ヒバ	360
H13. 5. 26	0. 14ha	ヒバ	600

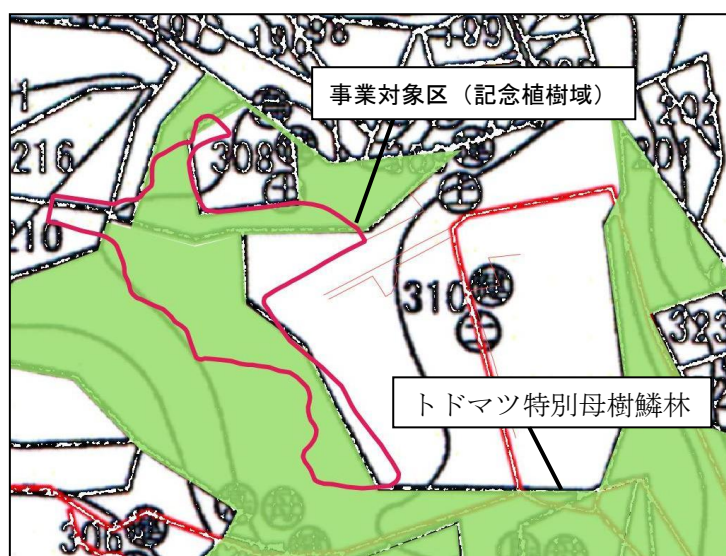


図 2. ヒノキアスナロ記念植樹域

3. 事業内容

◎ヒノキアスナロ人工林環境調査事業

期日：6～7 月（下層植生調査）

内容：出現植物種、被度（広葉樹稚樹に関して、樹種・本数・高さ）。

期日：9～10 月（毎木調査）

内容：樹高、胸高直径（胸高直径 5.0cm 以上）、樹種、樹勢（枯損、剥皮、空洞、病気（漏脂病など）の有無等）。※根株と枯木も調査する。

◎ヒノキアスナロ記念植樹域整備事業

期日：5～6 月（林務係との現地協議）、11 月（第 2 回連絡協議会時に素案提出）

内容：林務係の職員を交えての現地視察と、平成 26 年度の現地協議会での協議を基盤として、今後の取り扱いについての計画を策定する。

資料5 土橋自然観察教育林連絡協議会現地視察報告書

開催日時：平成26年5月25日（日） 13：00～15：00

開催場所：厚沢部町緑町土橋自然観察教育林

出席者：酒本紀一（協議会員）、須賀貞樹（協議会員）、鈴木晃子（協議会員）

事務局：水本絵夢（教育林コーディネーター）

視察打ち合わせ事項

1. 記念植樹域の取り扱いについて

- ・記念植樹域内に生育する広葉樹の位置をもとに、将来的にどのヒバの個体を樹木見本林の樹として育てるかを明確に定める。
- ・樹木見本林の樹として育てる個体については、植物園的な育て方（下枝を残す等）をする。植物園関係者のかたに意見をいただきたい。
- ・樹木見本林の樹として育てない個体については、町民が裾払いや間引きなどの林業体験を行うための材料として利用する。
- ・広葉樹の周辺にあり、広葉樹への干渉が予想される個体については、手を付けずにおく。
- ・記念植樹域に隣接するヒバの中径木が植樹されている地点については、樹木の密度が高すぎるため、間伐などを行ったほうがよいのではないか。その場合馬搬の見学会を行ってみてはどうか。

2. 樹木見本林空地に植樹する樹種について

- ・新しく樹木を植えた後の樹木見本林を図示するなどして、将来像を明確にする。
- ・水はけのよい土地に適する樹木を植える。
- ・カエデ科やサクラ科の樹木が少ないので、その仲間を同じ場所に比較できるようまとめて植える。
- ・カシワやブナを植える。
- ・ヒノキアスナロの近くに、地元で身近に見る事の出来る針葉樹を植え、比較できるようにする。
- ・ブナの樹の近くにサワシバ、アカシデを植える。

3. その他要望

- ・ヤナギ科の樹木を第二見本林の現在のドロノキのある位置に植える。
- ・鳥見小屋を第二見本林（バンガローの「マロニエ」と「キビタキ」の間の位置）に移す。
- ・子供用の遊具は国道近くの空き地に移動した方がよい。